令和6年第3回定例会議事日程（第2号）

令和6年9月6日（金）

午前10時00分開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
- 日程第2 議案第37号 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度吉富町一般会計補正予算（第3号）について）
- 日程第3 議案第38号 吉富町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第4 議案第39号 吉富町立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第5 議案第40号 吉富町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第6 議案第41号 吉富町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第7 議案第42号 令和5年度吉富町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第8 議案第43号 令和5年度吉富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第9 議案第44号 令和5年度吉富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第10 議案第45号 令和5年度吉富町奨学金特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第11 議案第46号 令和5年度吉富町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 日程第12 議案第47号 令和5年度吉富町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 日程第13 報告第5号 令和5年度吉富町健全化判断比率の報告について
- 日程第14 報告第6号 令和5年度吉富町水道事業会計資金不足比率の報告について
- 日程第15 報告第7号 令和5年度吉富町下水道事業会計資金不足比率の報告について
- 日程第16 議案第48号 令和6年度吉富町一般会計補正予算（第4号）について
- 日程第17 議案第49号 令和6年度吉富町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
- 日程第18 議案第50号 令和6年度吉富町水道事業会計補正予算（第2号）について
- 日程第19 議案第51号 教育委員会委員の任命について
- 日程第20 議案第52号 福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について
- 日程第21 報告第8号 経営状況の報告について（株式会社ツクローネ吉富）

令和6年第3回吉富町議会定例会会議録（第2号）

招 集 年 月 日 令和6年9月6日
 招 集 の 場 所 吉富町役場二階議場
 開 会 9月6日 10時00分
 応 招 議 員 1番 新保 祐介 6番 横川 清一
 2番 丸谷 宏一 7番 是石 利彦
 3番 角畑 正数 8番 岸本加代子
 4番 向野 倍吉 9番 矢岡 匡
 5番 太田 文則 10番 山本 定生
 不 応 招 議 員 なし
 出 席 議 員 応招議員に同じ
 欠 席 議 員 不応招議員に同じ

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職氏名

町 長	花畑 明	子育て健康課長	梅林 正典
副 町 長	和才 薫	上下水道課長	奥家 照彦
教 育 長	若山誠一郎	教 務 課 長	石丸 順子
未来まちづくり課長	別府 真二	建 設 課 長	軍神 宏充
総務財政課長	奥本 仁志	検査会計室長	奥本 恭子
住 民 課 長	南 博己	吉富保育園長	高尾 広篤
税 務 課 長	岩井 保子	吉富幼稚園長	
会計管理者		代表監査委員	是石 英俊
福祉保険課長	友田 哲也		

本会議に職務のため出席した者の職氏名

事 務 局 長	中家 立雄
書 記	小原 弘光

町長提出議案の題目 別紙日程表のとおり
 議員提出議案の題目 別紙日程表のとおり

午前10時00分開議

○議長（山本 定生君） おはようございます。御着席ください。ただいまの出席議員は10名で、定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

なお、本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1. 会議録署名議員の指名について

○議長（山本 定生君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、岸本議員、矢岡議員の2名を指名いたします。

日程第2. 議案第37号 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度吉富町一般会計補正予算（第3号）について）

○議長（山本 定生君） 日程第2、議案第37号専決処分の承認を求めることについて（令和6年度吉富町一般会計補正予算（第3号）について）を議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） それでは、議案書1ページをお願いいたします。

議案第37号専決処分の承認を求めることについてでございます。

多額の法人町民税還付金が発生したことにより、予算が不足し、補正の必要が生じましたが、還付加算金を増やさないよう、一刻も早く税の還付を行う必要があるため、議会を招集する時間的余裕がなかったことから、地方自治法第179条第1項の規定により、令和6年度吉富町一般会計補正予算を令和6年7月25日付で専決処分をいたしましたので、同条第3項の規定により報告をし、承認を求めるとでございます。

一般会計補正予算書の第3号をお願いをいたします。

1ページをお願いをいたします。

令和6年度吉富町一般会計補正予算（第3号）としまして、第1条で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ611万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ42億9,340万7,000円とするものでございます。

なお、歳入については、財政調整基金を財源として、基金繰入金を計上をしております。

以上で説明を終わります。御承認いただきますようお願いいたします。

○議長（山本 定生君） これから質疑を行います。

質疑に当たっては、自己の意見は述べられないことになっております。なお、質疑の回数は、同一議員につき、同一議題について3回を超えることができないようになっておりますので、よろしくをお願いいたします。

また、質問者、答弁者の発言は、挙手をし、「議長」と発声の後、私から発言の指名を受けてから行ってください。

以上のことを必ずお守りいただきますよう、よろしく願いいたします。

それでは、ページを追って質疑に入ります。

補正予算書1ページ、歳入2ページ、歳出3ページ、次に4ページ、事項別明細書、総括歳入5ページ、同じく総括歳出、次に歳入6ページ、歳入全般について御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、歳出に入ります。歳出7ページ、歳出全般について御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

歳入歳出全般について御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 以上、補正予算書全般について御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第37号は、会議規則第39条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第37号は委員会付託を省略することに決しました。

次に、討論に入ります。反対討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 賛成討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 討論なしと認めます。これにて質疑、討論を終わります。

これから本案を採決いたします。本案は原案のとおり承認することに御異議はありますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第37号専決処分の承認を求めることについて（令和6年度吉富町一般会計補正予算（第3号）について）は、原案のとおり承認することに決しました。

日程第3 議案第38号 吉富町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（山本 定生君） 日程第3、議案第38号吉富町職員定数条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） それでは、議案書3ページを御覧ください。

議案第38号吉富町職員定数条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。

職員の定年延長の実施に伴い、定年退職者の減少が生じる中で、安定的かつ計画的な職員採用を可能とし、職員構成の平準化を図り、組織の安定的な運営を維持することを主な目的として、加えて職務の複雑性・困難性が増す中で、人材育成等に力を入れ、組織としての行政需要への対応力を強化することも目指して、職員定数の増員を実施させていただきたく、本条例の一部を改正するものでございます。

これまで本庁におきましては、平成4年に定数を3名増員して以来、81名の職員定数を30年以上にわたって維持をしております。この間、平成の大合併や東日本大震災以降の防災体制の強化、新型コロナウイルスなど、様々な社会情勢の変化により、職員の業務も複雑・高度化してまいりましたが、何とかこれまで定数を増やすことなく頑張っております。

しかしながら、職員の段階的な定年延長が始まり、当面の間は定年退職者が大幅に減少することとなり、職員数が定数一杯の現状では、今の職員定数のままでは、職員の採用可能数も同様に減少するため、職員の年齢構成や経験年数に大きな影響が生じる見込みとなりました。このままでは、組織としての安定的な維持運営に支障が生じる可能性が高いことから、定年延長にかかわらず、これまでどおり平準化した計画的な採用を可能とするため、職員定数の増員を提案させていただきましてございます。

定数としては、今後15年程度の定年延長による影響を考慮して、10名の増員を提案しております。これはすぐに10人を増員するというのではなく、今後15年間を見越して、定年退職者の減少に関係なく平準化された計画的な職員採用を実施していくための枠を確保させていただきたいという趣旨でございます。

これにより、実際には定年延長をする職員の数だけ少しずつ職員数が増加をしていくことにはなりますが、人員の余力が生じることで、これまで課題となっておりました職員の時間外勤務が常態化している部署への増員や、町が特に推進したい事業への専任の職員や推進室の設置、人材育成のため、長期研修や国、県、他自治体等への派遣により職員に経験を積ませることで、組織力の強化にもつながるものと考えております。また、職員の働き方改革、複雑高度化する行政需要への適切な対応にもつながるものと考えております。

なお、今回の改正により職員定数は91人となりますが、増員後の定数でも、本庁の類似団体

の職員数の平均値より低い状況であり、この条例改正により最大限職員数が増えたとしても、類似団体平均以下の職員数にとどまるということを申し添えたいと思います。

それでは、具体的な改正内容を御説明いたします。

議案書は4ページ、附属資料の新旧対照表は1ページとなります。

まず、第2条第1号中、64人を73人に改め、こちらは町長部局の職員定数を9人増やすものでございます。また、同条第8号中、7人を8人に改める、こちらは教育委員会部局の定数を1人増員するものでございます。現状の人員構成や将来的な各部署の業務量の状況等を見据えて、今回は町長部局と教育委員会部局の定数増を実施することとしております。

最後に、附則となります。

この条例は令和7年4月1日から施行することとし、今後、実施する職員採用も新しい条例定数を踏まえて対応できればと考えております。

以上で説明を終わります。慎重に御審議の上、御議決くださいますようお願いいたします。

○議長（山本 定生君） これより質疑に入ります。本案に対して質疑はありますか。太田議員。

○議員（5番 太田 文則君） おはようございます。今回の職員定数条例の件なんですけども、一度に人数を増やすことではないというお話がありました。そういった中で、吉富町の現在の財政的に人数を増やすことによって、財政的に問題ないのかどうか、お答えください。

○議長（山本 定生君） 総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） 財政の面での御質問でございます。

非常に単純な計算をいたしますと、職員1人当たりの人件費といいますのは、全てを含めて約700万円程度ということになっております。決して少ない財政負担ではありませんので、当然のことながら、財政運営に支障が生じないかどうかを常に意識をしながら、今回、10人の増員の枠はいただきますが、実際にどの程度職員を増員するのかにつきましても、その時々々の財政状況や将来の財政負担、こういったものも見据えながら慎重に判断をしまいたいと考えております。

そしてまた、増員による人件費の財政負担を上回るような効果が見込めるように、私たち職員もしっかりと住民の皆様に応える仕事をしていかなければならないというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 太田議員。

○議員（5番 太田 文則君） そういった中で、職員の採用試験はもちろんあると思うんですけども、どのような方法での採用試験を行っているのか、お答え願えますか。

○議長（山本 定生君） 総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） 職員採用の試験の内容自体は、これまで同様、例えば、社会人

枠が必要であれば社会人枠の試験を行ったり、様々な取組を行っておりますので、方法自体を変えるという予定はございません。

ただ、採用する人数につきましては、これまでであれば定年退職者が発生して足りない数を補うという形でありましたが、定年退職者が発生しない状況であっても、平準化した職員採用ができますように、毎年一定の数、例えば、2人なら2人という程度の採用を毎年続けていくというような形で考えております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 太田議員。

○議員（5番 太田 文則君） 試験の内容をちょっと教えてもらいたいですけど、例えば、昔でいう、昔というと、ちょっと言い方は語弊があるんですけど、一般常識とかいうテストを行っているのか、例えば、吉富町の将来像、あとは面接、そういうパターンでやっているのか、そののところ、具体的に教えていただければ。

○議長（山本 定生君） ちょっと議案にそぐわんようですけど、総務、答えれますか。総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） 職員採用の内容につきましては、最近、一般的に行っておりますのが、まずはエントリーシートといいまして、様々な町からの質問に対して本人がお答えをしていただく、その内容を一次試験の内容とさせていただいて、まずは合否を決定する。その後、二次試験のほうで面接試験行いまして、その場で、そのときに、SPIといいまして、公務員に限らず一般的な企業が多く採用している、そちらの教養試験といいますか、それと性格検査ですね、そういったものを併せて実施をすることで、その方の教養が最低限備わっているかどうかということを確認をさせていただいております。

以上です。

○議長（山本 定生君） ほかにありませんか。岸本議員。

○議員（8番 岸本加代子君） 今のその採用試験なんですけど、例えば社会人枠で採るとか、新卒で採るとか、そのことについての区別はあるんですか、一緒ですか。

○議長（山本 定生君） すみません、今の、関連質問でしょうかね。（「そうです」と呼ぶ者あり）かなり議案とは違う質問に聞こえますけど。（「はい、分かりました」と呼ぶ者あり）よろしいですか。総務財政課、どうします。答弁しますか。総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） 社会人枠と、どういった方を採りたいかという目的によると思います。社会人枠とはいいいながらも、もちろん若くて新人の方でも能力が高いと判断できるようなことであれば、採用できるような状況にもしたいという思いもありますので、そういった場合には特に区別はなく、年齢的に何歳までというような試験を実施する場合もあるかと思っております。

ただ、どうしてもやはり民間の経験があるような即戦力が欲しいといった場合には、社会人に限定して採用するというようなこともあるかと思いますが、それはその時々的人员がどういった人員を求めるかということによって変わってくるかと思いますが、そのときそのときで決めていくという形になります。

以上です。

○議長（山本 定生君） 皆さんに説明いたします。すみません、議案に対する質問ということをご十分御理解の上で質問をお願いいたします。

ほかに質疑ありませんか。横川議員。

○議員（6番 横川 清一君） 労働力を増やすというところは、大変私も気になっていたところで賛成なんですけれど、吉富にも行政改革審議会とかいうものがあると思うんですが、そういうところに答申しているのかどうか、それをお尋ねします。

○議長（山本 定生君） 総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） これは行政改革の実施計画の中にも職員定数の適正化という項目がございまして、過去は、どちらかといえば減らす側で維持をするというほうがメインだったんですが、今はやはりしっかりと必要な定数を確保するというところを行革の一つの逆の目標として設定をさせていただいた上で実施をさせていただいております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 他に質問ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第38号は、総務文教委員会に付託したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第38号吉富町職員定数条例の一部を改正する条例の制定については、総務文教委員会に付託することに決しました。

日程第4. 議案第39号 吉富町立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（山本 定生君） 日程第4、議案第39号吉富町立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。子育て健康課長。

○子育て健康課長（梅林正典君） 議案書の5ページをお願いいたします。

議案第39号吉富町立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。

本条例は、町立保育所を設置、運営、管理をしていくために必要な基本的事項を定めた条例になりますが、この条例に規定する保育所入所の要件に関する条文の中に、今の時代にそぐわない表現が残ったままの状態となっていることから、適切な表現に改めるため、条例の一部改正を行うものでございます。

議案書6ページ、併せて附属資料の2ページをお願いいたします。

第5条ただし書中、「次の各号の1に該当するものについては」を「特別の事情がある場合は」に改め、同条各号を削る改正を行うものでございます。具体的に、現行の保育所入所を制限する内容として、第1号では、「伝染病、その他悪質な疾患を有する者」、第2号では、「身体が虚弱で集団保育に耐えない者」、第3号では、「精神病または悪癖を有する者」として規定しておりますが、特に第3号中、「精神病」という文言が、精神障害のある児童の保育所入所を制限している内容となっており、障害者の権利利益の侵害と捉えかねない表現となっていることから、福岡県から該当自治体に対し、適切な内容に改めるよう指導を受けたものでございます。

このことにより、改めて、改正内容について県からの指導助言をいただきながら、他の自治体の条例も参考としつつ、今回、個別の入所制限の要件を列記するのではなく、「特別の事情がある場合」とする改正案としております。

なお、保育所の入所要件として、本条例に該当する事案で入所を制限した実績はございません。附則としまして、この条例は公布の日から施行するとするものでございます。

以上で説明を終わります。慎重に御審議の上、御議決くださいますようお願いいたします。

以上です。

○議長（山本 定生君） これより質疑に入ります。本案に対して質疑はありますか。岸本議員。

○議員（8番 岸本加代子君） 「特別の事情」とあるんですけども、この「特別の事情」というのを、誰がどのように認定するのでしょうか。また、どういうことを想定していることがありましたら、教えてください。

○議長（山本 定生君） 子育て健康課長。

○子育て健康課長（梅林正典君） この現行の規定にある各号の項目が、今回の特別の事情ということではなく、具体的には、保育所に通う中で集団保育に耐えられるかどうかというところの判断になろうかと思えます。その子のためにはどういった選択が望ましいのかということが大事なことであって、そのためには、医師や療育機関等の専門的な知識を有した方の御意見であったり、保護者の意向を十分に尊重しながら、総合的に判断することになろうかと思えます。そういった意味から、条例の中で特定の病名などを入れて入所制限の要件を絞り込むということではなく、今回の「特別の事情」という表現で、その子にとってよりよい選択が行えるよう、総合的に判断することが望ましいと考えております。

以上です。

○議長（山本 定生君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第39号は、会議規則第39条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第39号は委員会付託を省略することに決しました。

次に、討論に入ります。反対討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 賛成討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 討論なしと認めます。これにて質疑、討論を終わります。

これから本案を採決いたします。本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第39号吉富町立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定については、原案のとおり可決することに決しました。

日程第5. 議案第40号 吉富町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（山本 定生君） 日程第5、議案第40号吉富町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。子育て健康課長。

○子育て健康課長（梅林正典君） 議案書の7ページをお願いいたします。

議案第40号吉富町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。

本条例は、ひとり親家庭等の父・母・児童の心身の健康の向上、福祉の増進に寄与するため、医療を受けた場合に自己負担をしなければならない費用について、公費負担する内容を定めた条例になりますが、引用する児童扶養手当法施行令において、昨今のひとり親の就労、収入の上昇等を踏まえ、所得が増えても支援策が継続できるように所得制限額の引上げ等の改正が行われたところであり、本条例における対象者につきましても同様の措置を講じるため、必要な条例の一

部改正を行うものでございます。

議案書の8ページ、併せて附属資料は3ページから4ページとなりますので、お願いいたします。

第3条第2項第4号、第6号及び第7号中、第2条の4第8項を第2条の4第7項に改め、同項第8号中第2条の4第7項を、第2条の4第6項に改める改正でございます。

ひとり親家庭等医療費の支給制度に関する所得制限については、児童扶養手当法施行令で定められた所得限度額を準用していることから、引用する政令において一部改正が行われたことに伴い改正する案としております。

附則としまして、この条例は令和6年11月1日から施行するとしまして、児童扶養手当法施行令の一部改正の施行期日と合わせた施行日としております。

以上で説明を終わります。慎重に御審議の上、御議決くださいますようお願いいたします。

以上です。

○議長（山本 定生君） これより質疑に入ります。本案に対して質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第40号は、会議規則第39条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第40号は委員会付託を省略することに決しました。

次に、討論に入ります。反対討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 賛成討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 討論なしと認めます。これにて質疑、討論を終わります。

これから本案を採決いたします。本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第40号吉富町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定については、原案のとおり可決することに決しました。

日程第6. 議案第41号 吉富町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（山本 定生君） 日程第6、議案第41号吉富町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。福祉保険課長。

○福祉保険課長（友田 哲也君） それでは、議案書の9ページをお開きください。

議案第41号吉富町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。

それでは、提案理由について御説明を申し上げます。

議案書の10ページと附属資料の5ページの新旧対照表も併せて御覧ください。

この改正は、国において行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆるマイナンバー法の改正が行われ、マイナンバーカードと保険証の一体化により、被保険者証と資格証明書が廃止されますことに伴い、本庁の条例につきましても、引用条文等の所要の規定を改正するために、条例の一部を改正するものでございます。

それでは、新旧対照表を見ていただきながら御説明いたしますので、附属資料の5ページをお願いいたします。

下線部分が今回の改正部分であります。第5条第2項では、被保険者が往診または歯科訪問診療の給付を受ける場合の診療報酬の算定方法が変更されたことに伴う改正で、平成18年厚生労働省告示第92号を平成20年厚生労働省告示第59号に改め、その2段下の項中7を項中11に改正いたします。次の第13条では、法改正に伴う項ずれの修正のため、1行目後段の第7項を第5項に改めます。

また、今後、基本的にはマイナンバーカードと保険証の一体化により、被保険者が町に被保険者証を返還する機会がなくなりますので、第13条中2行目の中ほどからの「もしくは、虚偽の届出をした場合または同条第3項の規定により被保険者証の返還を求められてこれに応じない場合」を「または虚偽の届出をした場合」に改正いたします。

最後に、附則でございます。

議案書の10ページ中頃の段の附則を御覧ください。

まず、施行期日につきましては、この条例は令和6年12月2日から施行する。これはマイナンバー法改正に準じた施行日となっております。

次の経過措置につきましては、この条例の施行日の前にした行為と合わせまして、経過措置に記載の政令第9条の規定で有効期限まで継続使用ができます。町が現在交付している保険証を12月2日以降、滞納に伴う返還を求めて、これに応じない場合の罰則適用につきましては、なお、従前の例によるとしております。

なお、今回の改正は法改正に伴うものであり、町独自の改正点はございません。

以上で説明を終わります。慎重に御審議の上、御議決くださいますようお願いいたします。

以上です。

○議長（山本 定生君） これより質疑に入ります。本案に対して質疑はありませんか。岸本議員。

○議員（8番 岸本加代子君） 第13条のところで、今回削除される「同条第3項の規定により」というところが、その中身が、読んでみたら、「保険料の滞納が一定期間続いた場合は、保険証、被保険証を返さなければならない」となっていたのですけれども、これが削除されることによって、そこら辺の部分というか、滞納した場合の措置とかは、今からどういうふうになっていくんでしょうか。

○議長（山本 定生君） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（友田 哲也君） 取扱いということで、短期証というところでお答えしたいと思うんですけれども、今現在、短期証の取扱いについては、マイナ保険証が始まりましたらなくなります。それに対して、今のところ、給付に関しては、今現在、資格証明書というところで運用されている部分につきましては、資格確認書（特別療養）というような形で新たな保険証ができるようになっております。

その取扱い、短期証自体はなくなるんですけれども、その短期証に対する取扱いというところが、資格確認書（特別療養）というところの取扱いになるかと思うんですが、その取扱いにつきましては、まだ国や県のほうから詳しく示されておられません、税務課のほうと今現在協議をしておるところでございます。

この後、国、県から詳細な取扱いが示されましたら、税務課のほうと連携を取りながら、徴収に関して支障がないような取扱いを進めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 今ので理解できましたか。岸本議員。

○議員（8番 岸本加代子君） 大体分かったんですけど、こういう理解でいいですか。今までは滞納した場合に、一定期間たった場合、被保険者証を返還してもらって短期保険証を渡していた。これから被保険者証がなくなったときに、被保険者証としてマイナンバーカードを発行していない方に対して、たしか資格証か何か、それが確認証と言うんですかね、出ると。その確認証が今までの被保険者証と同じような取扱いになる。だから、滞納すれば、今まで被保険者証を返還してもらっていたように、その資格確認書なるものを返還してもらうことになる、という理解でいいですか。違いますか。

○議長（山本 定生君） 税務課長。

○税務課長（岩井 保子君） 現行の短期保険者証の取扱いなんです、納税相談をいただいて、分納誓約をきちんと守っていただいている方につきましては、短期保険証を発行しているところです。これがマイナ保険証になりますと、短期保険証というものがなくなりますので、基本的に

はマイナ保険証か特別療養費の証明の2パターンしかもうなくなるんです。基本的には、保険証の交付というのは福祉的な部分もございまして、病院にかかりたいのに、保険証がマイナ保険証ではなくて特別療養費になってしまうということのないように、一旦、納税相談を受けていただきまして、今後、取扱いをどうするかというところは決めていきたいと思っております。

やはり、悪質な滞納者に関しましては、厳しい措置をするべきかとは思いますが、基本的には、分納誓約をしていただいて、きちんとお約束を守っていただいている方につきましては、3割負担できるようにしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 岸本議員。

○議員（8番 岸本加代子君） となると、この同項第3項というのを、このそのもの、この規定ですね、国保ですよ、これ、第3項の、要するに、被保険者証を返還を求めることができるというような内容そのものが、もうなくなってしまうというふうに理解していいんですか。

○議長（山本 定生君） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（友田 哲也君） 基本的な話としましては、12月2日以降、短期証というのはもうなくなります。それに対して、今まで運用側としてしっかり納めてくれる方には、何か月とか1年とか、そういったところでやっておりましたが、その運用ができなくなりますので、今度新しくできる、今現在、その資格証明書と言われている部分、あくまであなたは国民健康保険の方ですよという証明する部分ですね、それを使っていただくと、本人10割負担してとかいう使い方をしながらするんですけれども、そういった部分が資格確認書（特別療養）という形の新たな保険証ができます。

その保険証の運用を、今後、そういう今まで短期証に該当していた方にどう対応していくかというところのほうで、国、県からまだ示されていないので、今現在は内部で税務課のほうと協議しているというような状況でございます。

以上です。

○議長（山本 定生君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第41号は、会議規則第39条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第41号は委員会付託を省略することに決しました。

次に、討論に入ります。反対討論はありませんか。岸本議員。

○議員（8番 岸本加代子君） 今回のこの条例改正案は、現行の被保険者証の廃止を前提としています。こうした被保険者証の廃止をめぐっては反対の声も多い中、私も廃止すべきではない、継続すべきと考えるので、反対いたします。

○議長（山本 定生君） 賛成討論はありませんか。矢岡議員。

○議員（9番 矢岡 匡君） 町独自の今後の話で、国に準ずるところで、大方の共通感
覚を受けると述べさせていただいて、賛成討論といたします。

○議長（山本 定生君） 反対討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 賛成討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 討論なしと認めます。これにて質疑、討論を終わります。

これから本案を採決いたします。御異議がありますので、起立により採決いたします。本案は
原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山本 定生君） 起立多数であります。よって、議案第41号吉富町国民健康保険条例の
一部を改正する条例の制定については、原案のとおり可決することに決しました。

日程第7. 議案第42号 令和5年度吉富町一般会計歳入歳出決算の認定について

日程第8. 議案第43号 令和5年度吉富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて

日程第9. 議案第44号 令和5年度吉富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
について

日程第10. 議案第45号 令和5年度吉富町奨学金特別会計歳入歳出決算の認定につい
て

日程第11. 議案第46号 令和5年度吉富町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
について

日程第12. 議案第47号 令和5年度吉富町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認
定について

○議長（山本 定生君） お諮りいたします。日程第7、議案第42号から日程第12、議案第
47号までの6議案を一括議題にいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、日程第7、議案第42号令和5年度吉富町一般会計歳入歳出決算の認定についてから、日程第12、議案第47号令和5年度吉富町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてまでの6議案を一括議題にいたします。

代表監査委員に監査の報告を求めます。是石英俊監査委員。

○代表監査委員（是石 英俊君） 地方自治法第233条第2項及び第241条第5項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定により、令和5年度吉富町一般会計、特別会計及び水道事業会計、下水道事業会計の決算並びに基金の運用状況を示す書類を審査した結果、その意見は次のとおりであります。

1、審査対象、（1）令和5年度吉富町一般会計歳入歳出決算及び関係帳簿、証書類。（2）令和5年度吉富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び関係帳簿、証書類。（3）令和5年度吉富町奨学金特別会計歳入歳出決算及び関係帳簿、証書類。（4）令和5年度吉富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算及び関係帳簿、証書類。（5）令和5年度吉富町下水道事業会計剰余金の処分及び決算並びに関係帳簿、証書類。（6）令和5年度吉富町下水道事業会計剰余金の処分及び決算並びに関係帳簿、証書類。（7）基金の運用状況。

2、審査終了期日、令和6年8月26日。

各会計について、決算書及び出納日計簿、収入簿並びに支出簿により出納書類を照査の上、慎重に審査した結果、決算は計数的に正確であり、財務執行は適正であると認定しました。

また、基金の運用状況については、その目的に従って適正かつ効率的に運用され、計数及び証票書類、預金証書などともに合致しており、正確であると認めました。令和6年9月3日。吉富町監査委員、是石利彦、同是石英俊。

以上です。

○議長（山本 定生君） ありがとうございました。

次に、決算の概要について、会計管理者に説明を求めます。会計管理者。

○会計管理者（岩井 保子君） それでは、町の各会計の令和5年度決算につきまして、お手元の決算の概要により説明をいたします。

1ページをお願いいたします。

この表は、一般会計及び特別会計における決算の総括表です。一番下の欄を御覧ください。

各会計の歳入決算の合計額は52億104万820円、歳出決算の合計額は49億2,163万5,953円、繰越事業費繰越財源は979万5,000円、差引残高は2億6,960万9,867円です。

2ページをお願いいたします。

令和5年度一般会計決算の概要について説明いたします。

1、概要（1）予算額です。当初予算額35億2,600万円、補正予算額7億2,926万7,000円、令和4年度からの繰越事業費繰越額は3,198万7,000円、予算現額は42億8,725万4,000円です。

（2）決算額です。歳入額43億3,055万3,272円、歳出額40億7,594万7,197円、歳入歳出差引残額は2億5,460万6,075円で、このうち、吉富町財政調整基金条例の規定に基づき、1億3,000万円の決算積立てを行いましたので、令和6年度への繰越額は1億2,460万6,075円となっております。なお、この繰越額の中には979万5,000円の繰越明許費繰越額が含まれております。

（3）は、最近5か年度の決算額の状況を千円単位で表に示しております。

2、歳入（1）歳入の決算額です。予算現額42億8,725万4,000円、調定額43億6,922万6,677円、収入済額43億3,055万3,272円、不納欠損額31万8,400円、収入未済額は3,835万5,005円です。不納欠損額及び収入未済額の内訳は、備考に記載のとおりです。

（2）は、歳入決算額の科目別内訳です。歳入の科目ごとに令和5年度と令和4年度を比較したものです。

3ページ、3、歳出（1）歳出の決算額です。予算現額42億8,725万4,000円、支出済額40億7,594万7,197円、執行率は95.07%、不用額1億5,342万8,803円、繰越明許費は5,787万8,000円です。

（2）歳出決算額の科目別内訳です。各項ごとの歳出決算額を4ページにかけて記載をしております。備考欄の不用額等の内訳には、目ごとに100万円以上の不用額及び繰越明許費について記載をしております。

4ページをお願いいたします。

（3）歳出決算額の性質別内訳は、令和5年度と令和4年度の決算額を種別ごとに比較したものでございます。

5ページ、4、町民の負担状況です。町民負担となる税や各種使用料等を令和5年度と令和4年度で比較したものです。合計で983万5,000円増加しており、歳入総額に対する割合は12.35%となっております。

5、町債の現在高です。前年度末現在高の合計額は33億8,862万6,000円で、令和5年度中に新たに普通債で合計9,640万円、災害復旧債で60万円、その他で1,458万2,000円の合計1億1,158万2,000円を起債しておりますが、合計で3億798万9,000円を償還したことにより、本年度末現在高の合計は31億9,221万9,000円となり、昨年度より1億9,640万7,000円減少しております。

6 ページをお願いいたします。

6、町有財産の状況です。土地は、別府の山林面積の現況差の調整に伴う増加と、旧玄光院グラウンド及びゲートボール場、旧県営直江団地敷地の売却による減少で、差引き7,008平方メートル減少し、34万2,921平方メートルとなっております。

建物は増減がなく3万1,135平方メートルです。

車両も増減はなく30台の保有でございます。

一般会計に属する基金は、年度中に1億6,641万9,000円増加し、基金合計額は29億365万4,000円です。新たに積み立てた基金は、財政調整基金が1億4,000万円、減債基金が1,027万2,000円、公共下水道事業費基金が1億4,000万円、ふるさと吉富まちづくり応援基金が2,359万8,042円、収入印紙購買基金が224万5,300円です。

また、新たに公共施設等整備基金を設置し、2億円を新規で積み立てております。

ほかには利息積立てが合計で348万6,169円ありました。

取崩しを行った基金は、財政調整基金が1億8,800万円、減債基金が6万1,031円、公共下水道事業費基金が1億5,300万円、ふるさと吉富まちづくり応援基金が978万2,000円、収入印紙等購買基金が234万300円です。

備考欄には、各基金の令和6年3月31日の現在高を記載しております。

権利、債権はともに年度中の増減はありません。

7、一部事務組合財産の状況です。土地、建物に関する増減はありませんが、豊前市外二町清掃施設組合において、令和5年4月から共同運営をしておりますし尿処理に係る土地、建物については財産処分協議中でございます。

組合債の残高につきましては、吉富町外一市中学校組合は1,904万7,000円減少し、1億3,405万8,000円、豊前市外二町清掃施設組合は、し尿処理に係る組合債が新たに2億9,131万6,000円増え、京築広域市町村圏事務組合は6,209万9,000円減少し、2億5,107万3,000円、京築地区水道企業団は2億9,642万2,000円が減少し、26億2,232万7,000円でございます。

7ページから8ページにかけては、歳入歳出決算の科目別の割合を円グラフで示しております。

9ページをお願いいたします。

国民健康保険特別会計決算の概要です。

1、概要、(1) 予算額です。当初予算額8億1,493万8,000円、補正予算額は5,663万円の減額で、予算現額は7億5,830万8,000円です。

(2) 決算額です。歳入額7億3,182万2,219円、歳出額7億1,002万4,117円、

歳入歳出差引き残額は2,179万8,102円です。基金への積立ではありませんので、翌年度繰越額は歳入歳出差引き残額と同額の2,179万8,102円です。

(3)は、最近3か年度の決算額の状況を千円単位で記載しております。

次に2、歳入、(1)歳入の決算額です。

予算現額7億5,830万8,000円、調定額7億5,188万6,300円、収入済額7億3,182万2,219円、不納欠損はありません。収入未済額は2,006万4,081円です。

(2)歳入決算額の科目別内訳は、歳入の科目ごとに令和5年度と令和4年度を比較したものでございます。

10ページをお願いいたします。

3、歳出、(1)歳出の決算額です。予算現額7億5,830万8,000円、支出済額7億1,002万4,117円、執行率は96.63%、不用額は4,828万3,883円で内訳は備考に記載しているとおりです。

(2)歳出決算額の科目別内訳は、歳出科目ごとの令和5年度と令和4年度の比較です。

4、被保険者の負担状況です。被保険者負担となる税と手数料を令和5年度と令和4年度で比較したもので、合計で527万6,744円減少し、歳入総額に対する割合は14.40%となっております。

5、基金です。保険給付費支払準備基金は年度中に利息2,760円を積み立てましたが、3,500万円を取り崩したため、3,499万7,240円減少し、本年度末現在高は7,505万6,761円です。

高額療養資金貸付基金は年度中の増減はなく、本年度末現在高は、原資額の350万円です。

6、債権はございません。

11ページをお願いいたします。

奨学金特別会計決算の概要です。

1、予算額です。当初予算額3,378万8,000円、補正予算額は1,607万円の減額で、予算現額は1,771万8,000円です。

2、決算額です。歳入額1,772万1,095円、歳出額1,771万2,857円、歳入歳出差引き残額は8,238円で、全額が翌年度への繰越額となります。

3、歳入決算額は、科目ごとの予算現額と収入済額、差引き増減を記載しております。差引き増減の三角表記は歳入超過を示しております。

4、歳出の決算額は、科目ごとの予算現額と支出済額、不用額を記載しております。

5、基金です。奨学金基金は年度中に利息と合わせて600万8,944円を積み立て、今年度末現在高は1億617万5,878円となっております。

12ページをお願いいたします。

後期高齢者医療特別会計決算の概要です。

1、予算額です。当初予算額1億2,338万9,000円、補正予算額は249万4,000円の減額で、予算現額は1億2,089万5,000円です。

2、決算額です。歳入額1億2,094万4,234円、歳出額1億1,795万1,782円、歳入歳出差引き残額は299万2,452円で、全額が翌年度への繰越額となります。

3、歳入の決算額は、科目ごとの予算現額と収入済額、差引き増減及び令和4年度の決算額を記載しております。差引き増減の三角表記は、歳入超過を示しております。

また、令和4年度決算額との比較は合計で418万7,524円の増額でございます。

4、歳出の決算額です。科目ごとの予算現額と支出済額、不用額、令和4年度決算額を記載しております。令和4年度決算額との比較は合計で393万4,077円の増額です。

以上で説明を終わります。

○議長（山本 定生君） 引き続き、水道事業会計、下水道事業会計の決算の概要について担当課長の説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長（奥家 照彦君） それでは、続きまして13ページをお願いいたします。

○議長（山本 定生君） 課長着座でお願いします。

○上下水道課長（奥家 照彦君） ありがとうございます。それでは着座にて失礼をいたします。

令和5年度吉富町水道事業会計決算の概要につきまして御説明いたします。

1、収益的収入及び支出。まず収入につきまして、当初予算額1億6,018万円に補正予算額は44万5,000円、予算現額は1億6,062万5,000円です。支出につきましては、当初予算額1億3,363万円に補正予算額は63万1,000円、予算現額は1億3,426万1,000円です。これに対しまして決算額は、収入1億6,998万8,576円、支出は1億2,137万2,081円で、収入支出差引き残高は4,861万6,495円となっております。

次に、2、資本的収入及び支出です。

収入につきましては、当初予算額2億6,507万1,000円、地方公営企業法第26条の規定による繰越額1,653万8,000円を合わせまして、予算現額は2億8,160万9,000円です。

支出につきましては、当初予算額3億452万9,000円、地方公営企業法第26条の規定による繰越額1億374万3,000円を合わせまして、予算現額は4億827万2,000円となっております。

これに対し、決算額は収入2億6,560万9,000円、支出は3億163万2,469円で、収入支出差引き残高はマイナスの3,602万3,469円となっております。

この資本的収入額が資本的支出額に不足する額3,602万3,469円は、過年度損益勘定留保資金1,381万2,197円と、繰越工事資金87万8,000円、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,133万3,272円で補填をいたしております。

続きまして、3、契約の要旨でございます。令和5年度における契約のうち、主なものを掲載しております。下3つに掲載の令和4年度幸子浄水場送水ポンプ施設改良工事ほか、2つの工事は繰越工事で施工したものであるため、令和5年度決算に計上されているものであります。

4、業務についてであります。年度末給水人口のほか、記載の項目につきまして、令和5年度と令和4年度を比較して掲載してございます。年度末給水人口は令和4年度に比べ16人の増で6,024人となっております。給水人口は微増であります。3行目、年間配水量、4行目、年間1日平均配水量、5行目、年間給水量につきましては、令和4年度比で見ますと、いずれもマイナスの数値となっております。

これは数年間続きましたコロナ禍も過ぎましたことから、自宅での水使用が減ってきたことがあるのではないかとというふうに分析をしております。

有収率につきましては、令和4年度に比べますと1.21%マイナスの97.05%となっております。令和5年度も漏水の早期発見、早期修繕に努めまして、有収率といたしましては、良好な値を保っておるところでございます。

今後も日々の配水量管理におきましては、入念な監視を行い、有収率の維持を図ってまいりたいと考えております。

次に、5、企業債及び一時借入金の概要です。

企業債につきましては、前年度末残高5億8,238万6,623円に本年度借入高2億2,070万円を加えまして、本年度償還高が2,205万7,459円ですので、これを差し引きまして、本年度末残高は7億8,102万9,164円となっております。一時借入金はありません。

6、令和5年度水道事業会計固定資産明細でございます。固定資産の年度当初現在高は22億9,615万4,007円で、当年度増加額が2億6,720万9,100円、当年度減少額は6,294万6,520円、差引きいたしました年度末現在高は25億41万6,587円です。

最後に、当年度減価償却増加額は3,614万4,102円、当年度減価償却減少額は4,717万6,349円で、減価償却累計額総計は8億7,786万1,951円となっております。年度末償却未済高は16億2,255万4,636円となっております。

以上が、令和5年度吉富町水道事業会計の決算の概要についてであります。

引き続きまして、14ページをお願いいたします。

令和5年度吉富町下水道事業会計決算の概要につきまして説明をいたします。

1、収益的収入及び支出です。収入につきましては、当初予算額が2億8,906万9,000円で、補正予算額はマイナス1,048万9,000円、予算現額は2億7,858万円です。

支出につきましては、当初予算額2億8,015万6,000円に補正予算額マイナス757万5,000円、予算現額は2億7,258万1,000円です。

これに対しまして決算額は、収入2億9,680万4,240円、支出は2億6,403万1,961円で、収入支出差引き残高は3,277万2,279円となっております。

次に、2、資本的収入及び支出です。

収入につきましては、当初予算額3億135万1,000円に、補正予算額マイナスの178万2,000円と地方公営企業法第26条の規定による繰越額1億4,560万円を合わせまして、予算現額は4億4,516万9,000円となっております。

支出につきましても、当初予算額4億879万7,000円に補正予算額はなく、地方公営企業法第26条の規定による繰越額2億4,834万6,000円を合わせまして、予算現額を6億5,714万3,000円としております。

これに対しまして、決算額は収入4億167万6,800円、支出は5億9,448万3,177円で、収入支出差引き残高はマイナス1億9,280万6,377円となっております。この資本的収入額（前年度支出に充当した額が890万円）が資本的支出額に不足する額2億170万6,377円は、過年度損益勘定留保資金238万142円と、当年度損益勘定留保資金7,673万7,381円、繰越工事資金9,466万9,800円、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,791万9,054円で補填をいたしております。

続きまして、3、契約の要旨でございます。令和5年度における契約の中から主なものを掲載しております。記載中1番下、令和4年度公共下水道事業県道山内吉富線面整備管渠（第2工区）築造工事につきましては、繰越工事で施工したのになります。

4、業務についてであります。

行政区域内人口のほか、記載の項目につきまして、令和5年度と令和4年度を比較して掲載しております。行政区域内人口は令和4年度に比べ45人の減というふうになっておりますが、下水処理区域内人口は令和5年度4,372人と、32人増加しております。

水洗化人口も令和5年度は2,471人と、供用開始区域の拡張に伴いまして63人の増加、年度末処理戸数も1,157戸となりまして、45戸の増となっております。

普及率は令和5年度66.36%となりまして、昨年度より0.93%の増、有収水量も下水道使用者の増加に伴いまして、前年水量より6,149立方メートル増の26万8,232立方メートルというふうになっております。

住民の皆様の御理解、御協力をいただきながら、水洗化人口等、少しずつではありますが、上昇をしているところでございます。引き続き御支援のほどよろしくお願いいたします。

5、企業債及び一時借入金の概要です。企業債につきましては、前年度末残高28億4,282万9,513円に、本年度借入高2億6,730万円を加えまして、本年度償還高1億2,669万6,780円を差し引きますと、本年度末残高は29億8,343万2,733円となっております。

一時借入金はございません。

6、令和5年度下水道事業会計固定資産明細でございます。固定資産の年度当初現在高は57億6,934万8,392円で、当年度増加額は4億6,171万544円、当年度減少額は3,511万3,543円、差引きしました年度末現在高は61億9,594万5,393円になります。

最後に、当年度減価償却増加額は1億5,625万9,273円、当年度減価償却減少額は33万5,858円、減価償却累計額総計は7億6,335万2,222円となっており、年度末償却未済高は54億3,259万3,171円となっております。

以上で、令和5年度吉富町下水道事業会計決算の概要についての説明を終わります。

以上です。

○議長（山本 定生君） 決算の概要説明は終わりました。

ここで暫時休憩をいたします。再開は11時20分といたします。

午前11時13分休憩

午前11時20分再開

○議長（山本 定生君） 再開いたします。

引き続き、議案第42号令和5年度吉富町一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第42号については、本日は決算書の内容について執行部からの説明を受けることにとどめ、質疑を省略し、予算決算委員会に付託したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第42号令和5年度吉富町一般会計歳入歳出決算の認定については、本日は決算書の内容について執行部からの説明を受けることにとどめ、質疑を省略し、予算決算委員会に付託することに決しました。

それでは、決算書の一般会計歳入歳出決算事項別明細書1ページから順を追って説明を求めま

す。

なお、答弁者の各課長は、着座のままの説明を認めますので、よろしくお願いたします。

では、事項別明細書1ページ。税務課長。

○税務課長（岩井 保子君） 1ページから2ページにかけまして、1款町税について説明いたします。

調定額は前年度より1,523万3,581円増加し、8億3,386万5,342円でございます。税別の内訳といたしまして、1項町民税が2,164万8,852円の増額で、そのうち、1目個人町民税は224万1,552円、2目法人町民税は1,940万7,300円、ともに増額でございます。

2項固定資産税は697万7,400円減額しております。

3項軽自動車税は56万4,452円、4項たばこ税は69万7,677円、ともに増額しております。

収入済額は、前年度より1,460万3,151円増額の7億9,939万503円でございます。

不納欠損額は31万8,400円で、前年度より17万5,545円減少しております。固定資産税における現年課税分と滞納繰越分で、不納欠損の理由としましては、納税義務者の死亡に伴う相続放棄が6件、法人の倒産に伴う納税義務者の不存在が2件でございます。滞納者数は132人で、前年度より21人減少しております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 続いて、2ページ。3ページ。副町長。

○副町長（和才 薫君） 2ページの中ほど、森林環境譲与税についてです。

収入済額で68万2,000円、こちらは令和元年度より施行された税でございます。今年度は、この税収を活用し、後ほど出てまいります。林業振興費、工事請負費より73万1,500円にて、吉富小学校に本棚2基、ロッカーを設置させていただいております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 続きまして、2ページ、同じく、ないですね。3ページ。4ページ。総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） 3ページをお願いいたします。

10款1項1目地方交付税で、予算額14億6,931万3,000円に対し、調定額、収入済額ともに15億156万4,000円でございます。

内訳としましては、1節普通交付税が予算額、調定額、収入済額全て13億9,931万3,000円、2節特別交付税が予算額7,000万円に対し、調定額、収入済額がともに1億

225万1,000円でございます。

このうち、普通交付税につきましては、対前年度比で5,460万円ほどの増となっておりますが、臨時財政対策債への振替分が前年度比1,650万円減少しているため、トータルで見ますと、前年度からは約3,810万円、2.8%ほどの増となっております。

一方で、特別交付税につきましては、地域おこし協力隊など特別交付税措置がされる事業費の減などにより、前年度比約1,091万円、9.6%の減となっております。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 子育て健康課長。

○子育て健康課長（梅林正典君） 4ページになります。

12款1項1目1節の児童福祉費負担金です。調定額3,070万4,630円に対し、収入済額3,028万2,840円、収入未済額は42万2,790円です。

この内訳で、備考1番上の町立保育園保育料から5項目めの他市町村運営費負担金までの現年分の保育料等の収入済額は2,037万8,770円、収入未済額は9万2,480円で、収納率は99.5%、滞納者は2名でございます。滞納繰越分の収入済額は50万1,960円、収入未済額は47万310円で収納率は51.6%、滞納者は8名となっております。

備考の下から2項目めの放課後児童クラブ保育料については収納率100%で、現年分の調定額及び収入済額は537万7,100円で滞納繰越はございません。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 3ページ、4ページ、ありませんか。5ページ、6ページ、7ページ、8ページ、9ページ、10ページ、住民課長。

○住民課長（南 博己君） 9ページをお願いいたします。

上のほう、5目総務費補助金1節社会保障・税番号制度システム整備費補助金です。予算額1,372万6,000円に対しまして、調定額、収入額ともに452万5,000円で、差額920万1,000円について御説明いたします。

備考欄の一番上、システム整備費補助金0円でございますが、こちらは戸籍に氏名の振り仮名が記載されることに伴う住民基本台帳システムと戸籍附票システムの改修事業に伴う国庫補助金でございます。この事業につきましては、国が示す仕様書に変更がありましたので、予算額1,179万7,000円全額を令和6年度に繰越しをいたしました。なお、補助率は100%となっております。

その次、個人番号カード交付事務費補助金でございますが、こちらはマイナンバーカードの交付事業に伴う国庫補助金で、補助率は約75%となっております。この事業につきましては、予算額192万9,000円に対しまして、調定額、収入額ともに452万5,000円ございま

す。この2つの事業の差引額が920万1,000円となっております。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 9ページ、10ページありませんか。11ページ、12ページ、子育て健康課長。

○子育て健康課長（梅林正典君） 11ページになります。15款2項2目2節児童福祉費補助金です。予算額667万9,000円のうち、子育て健康課分の予算額は592万4,000円に対し調定額、収入額ともに490万2,000円で、予算額を102万2,000円下回っております。

この主な要因については、事業実績額に応じて補助される仕組みとなっております、備考欄上から2番目の一時預かり事業費補助金が予算額18万7,000円に対し、収入額が2万1,000円となったこと、それから、上から5項目め、延長保育事業費補助金が予算額93万1,000円に対し、収入額が23万4,000円となっており、歳出の事業費実績が予算計上を下回ったことが主な要因となっております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 副町長。

○副町長（和才 薫君） 同じく12ページの中ほどになりますが、4目農林水産業費補助金2節農業費補助金のうち、多目的機能支払交付金67万350円についてです。

これは、令和5年度からの新規の取組に対する補助事業で、農業・農地の多面的機能の維持・発展を図るための地域の共同活動に係る費用を支援する交付金で、国が2分の1、県が4分の1で、県よりまとめて4分の3が交付されるものであり、令和5年度は、町内5地区において農作業・農地の保全活動の組織を立ち上げ取り組んでいる事業に対して補助を行ったものでございます。

以上です。

○議長（山本 定生君） 同じく12ページありませんね。13ページ、14ページ。税務課長、ごめんなさい。会計管理者。

○会計管理者（岩井 保子君） 14ページです。

16款1項2目1節利子及び配当金は、基金利子全体で前年度より92万6,956円増額の430万9,049円でございます。

国や地方公共団体、財政投融资機関が発行する債券による資金運用を、令和4年度から開始しており、令和5年度は、財政調整基金、減債基金、地域振興基金、土地開発基金におきまして、一括運用として新たに3億3,000万円の債券を購入しております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） 同じく14ページをお願いいたします。

17款1項2目ふるさと吉富まちづくり応援寄附金で、予算額5,360万円に対し、調定額、収入額ともに4,334万2,500円でございます。

内訳としましては、個人版のふるさと納税が3,140件3,974万2,500円で、前年度比で件数は200件ほど減少しておりますが、金額としては87万円ほど増加をしております。一方で、企業版ふるさと納税が3社で360万円にとどまり、前年度比でマイナス5社、2,287万8,000円の大幅な減少となっております。

個人版につきましては、前年度に牛肉の商品が当たり、その前の年度の倍近くの寄附をいただいておりますが、令和5年度はその牛肉の商品の人气が下火となった代わりに、別の辛子明太子の返礼品がヒットしたというおかげもありまして、ほぼ倍増した前年度と同じ水準を維持することができました。一方、企業版ふるさと納税につきましては、前年度は本町のかわまちづくり事業や脱炭素、SDGsなどの取組に賛同をいただいた企業から多くの寄附をいただくことができましたが、令和5年度は大変残念ながら議会の場での御指摘などもあり、企業側が本町に寄附をすることを敬遠されたという事情もありまして、大幅に寄附額が減少する結果となってしまいました。

国は引き続き、企業版ふるさと納税について積極的に活用促進を図っていく考えでありますので、本町としましても、現状のマイナスイメージを何とか打開して、今後も貴重な自主財源として個人版も含め、少しでも多くのふるさと納税を吉富町にいただけるよう精いっぱい取組を進めてまいりたいと考えておりますので、議員の皆様にも御理解と御協力をいただければというふうに思います。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 14ページまでありませんか。よろしいですか。15ページ、16ページ、17ページまで。税務課長。

○税務課長（岩井 保子君） 17ページ。22款1項1目1節自動車取得税交付金の22万7,789円は、一部の自動車メーカーによる燃費性能及び排出ガス性能に係る不正行為により生じた自動車取得税の納付不足額に対する追加徴収に係る交付金でございます。

令和6年3月28日に急遽交付決定通知が県から届きましたが、予算措置をしていなかったため、款項目を新たに設置し、受入れを行ったものでございます。

以上です。

○議長（山本 定生君） それでは、歳出18ページ、19ページ、20ページ、21ページ、22ページ、未来まちづくり課長。

○未来まちづくり課長（別府 真二君） 21ページお願いします。

2款総務費1項総務管理費2目文書広報費10節需用費の印刷製本費のうち40万5,000円を、6目企画費11節役務費の広告料に流用しております。ふるさと納税の寄附額の増額を図るため、動画チラシによる広告掲載を展開するため、広告料として流用しております。また、同じく、2目文書広報費18節負担金補助及び交付金に1万5,000円を予備費から流用し、充当しております。広報コンクールに町の広報紙をエントリーするため、日本広報協会の会費として支出しております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 同じく21ページ、22ページありませんね。23ページ、24ページ。未来まちづくり課長。

○未来まちづくり課長（別府 真二君） 2款総務費1項総務管理費6目企画費11節役務費の広告料に、先ほどと同様に2目文書広報費10節需用費の印刷製本費から40万5,000円を流用し、充当しております。インターネット利用者に向けたふるさと納税のポップアップ広告での動画チラシによる展開を図るため、広告料として支出しております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 23ページ、24ページありませんか。副町長。

○副町長（和才 薫君） 24ページお願いします。

上のほう、18節の負担金補助及び交付金のうち、一番上の神楽の里づくり推進協議会負担金14万3,000円が新規で上がっております。これは、これまでは県が主導の京築連帯アメニティ都市圏推進会議というものに、毎年40万3,800円の負担金を出しておりましたが、この解散に伴い縮小をして令和5年度からこの神楽の里づくりが各市町持ち回りで行われることにより、今年度新規にこの負担金が上がってきたものです。内容は神楽を軸として京築の振興を図るという協議会でございます。

以上です。

○議長（山本 定生君） 24ページからありませんか。次は25ページ、26ページ、27ページ、28ページ。住民課長。

○住民課長（南 博己君） 27ページお願いします。

2款1項14目まち・ひと・しごと創生事業費の12節委託料です。備考欄の上から4番目空き家調査委託料でございまして、前回平成27年度に実施後8年ぶりに空き家・空き地実態調査を実施いたしました。調査結果といたしましては、推定空き家件数が233件、空き地が164件という結果でございまして、前回調査時の推定空き家が338件でしたが、これは町営住宅の空き家等を含んでおりましたので、それを差し引いて、前回調査時の推定空き家が285件、

今回が233件となりますので、8年間で52件減っております。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 副町長。

○副町長（和才 薫君） 同じところです。

備考欄の地域おこし協力事業委託料0円、1番下の地域おこし協力隊お試し体験プログラム実施委託料が0円となっておりますが、この辺につきましては、令和5年度は地域おこし協力隊の募集を6月から令和6年1月にかけて行った結果、適時、関係課も含めて協議を行ってまいりましたが、本町が求める人物像や、本町で地域協力隊活動をやりたいという情熱を感じられる該当者がおりませんでした。

本制度は特別交付税の対象事業であり、応募者の居住している地域要件等があることから、その地域要件や職歴等の書類選考や面接による人格適性検査の結果を基にオンライン面接を行い、その中には3次選考へご案内をした応募者もおりましたが、最終的には辞退という結果になりましたため、この2つの委託料が0円という結果になっております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 28ページありませんか。住民課長。

○住民課長（南 博己君） 28ページをお願いいたします。上のほうです。

15目交通政策費12節委託料です。予算額1,443万8,000円に対しまして、支出済額1,031万7,666円で、412万334円不用額について御説明いたします。

備考欄に記載しております4つの公共交通の運行に必要な経費を計上しておりましたが、委託料の支払いにつきましては、運行経費から運賃収入分を差し引いた金額を支払いいたしますので、その分執行残が生じたものでございます。

1番下のデマンドタクシーにつきましては、委託業者の車両を使用しておりますので、車両の維持管理費や人件費のほうが不要でございまして、予約があった日のみタクシーの運賃から1人当たりの利用料を差し引いた金額が運行委託料となるため執行残が多くなっております。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 28ページまでありませんか。29ページ、30ページ、31ページ、32ページ、33ページ、34ページ。福祉保険課長。

○福祉保険課長（友田 哲也君） 34ページお願いいたします。

3款1項1目社会福祉総務費の22節償還金利子及び割引料の2つの返還金の内容について御説明いたします。

まずは上の返還金ですが、これは令和4年度に1世帯5万円の給付を実施いたしました、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業の補助金に対する精算後の返還分になりま

す。当初、概算で950世帯分の交付申請しておりましたが、支給の実績が815世帯となり、事務費と事業費を合わせた金額を返還しております。

次に、その下の返還金は、令和4年度分の障害者関係の国や県の各種補助金7件分の返金額の合計になっており、いずれも毎年利用する方の利用具合が見込みにくいというところがございます。翌年度で精算する流れになっております。その中で返還額が大きいものを幾つか挙げますと、障害者自立支援給付費国庫負担金が321万1,377円、障害者医療費国庫負担金が244万3,063円となっております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 34ページまでよろしいですか。35ページ、36ページ、37ページ、38ページ、39ページ、40ページ。子育て健康課長。

○子育て健康課長（梅林正典君） 3款2項1目児童福祉総務費の10節需用費です。143万967円の不用額についてです。このうち、食料費の不用額が59万6,968円、それから修繕料の不用額が53万6,250円と多くなっております。

まず、食料費については、学童保育のおやつ代で年度途中の退所による児童数の減や土曜日の欠席などが主な要因となります。また、修繕料については、空気清浄機のフィルター交換予算を計上しておりましたが、年間を通して特段の異常はなく使用ができましたので、この交換予算を令和6年度予算に持ち越したことによる不用額が主な要因となっております。

続いて、12節委託料です。615万2,276円の不用額についてです。保育所への年度末までの新規入所に備え、予算を確保しておく必要があったため、不用額が生じております。

なお、支出額自体は令和4年度と比較しまして3,781万円ほどの増額となっております。この増額となった主な要因は、委託料の単価として年齢や定員数ごとに定められた公定価格の増額見直しが行われたこと、そのほかでは、昭和保育園の入所児童数が増加したことで約1,574万円の増、それから、つくしんぼ保育所の認可により約1,275万円、町外施設への入所児童数が増加したことで約1,046万円の増となっております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 40ページまでありませんか。よろしいですか。41ページ、42ページ。子育て健康課長。

○子育て健康課長（梅林正典君） 41ページ、3款2項2目児童措置費の18節負担金補助及び交付金です。300万1,367円の不用額についてです。主な要因は、備考の1番上の項目、特別保育事業補助金で、その中の事業であります一時預かり事業と延長保育事業の利用実績が、それぞれ予算計上数を下回ったことによりとなっております。次に、3目子ども医療対策費の19節扶助費です。備考にもありますように、予算不足により38ページのひとり親家庭等医療

費支給事業費の19節扶助費から22万4,000円を流用しております。年度末の執行が予測よりも多かったことから、流用したものとなっております。

なお、子ども医療については、昨年10月に助成対象者を高校生年代まで拡大したことで、決算額は令和4年度と比較しまして、490万円ほどの増となっております。

最後に、4目放課後児童対策事業費の12節委託料です。248万8,000円の不用額についてです。障害児学童保育事業委託料について、豊前市宇島の施設で築城特別支援学校などに通う児童生徒を対象としましたひまわり学童保育所とNPO法人鈴の音福祉会が運営しているもので、利用者負担のほか豊前市、吉富町の負担により運営しております。令和5年度は1人がこの施設を利用いたしました。休所していた時期もありまして、平均人数が1を下回ったことから、均等割、人口割の負担がなく、児童数割のみとなったことによる不用額となっております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 42ページまでよろしいですか。43ページ、44ページ、45ページ、46ページ。住民課長。

○住民課長（南 博己君） 46ページをお願いいたします。

4款1項4目環境衛生費18節負担金補助及び交付金です。予算額5,293万3,000円に対しまして、支出済額4,941万6,370円で、351万6,630円の不用額についてです。備考欄の1番上、吉富町外一町環境衛生事務組合負担金で、321万6,000円の不用額が出ていますが、吉富町外一町環境衛生事務組合議会のほうが2月に開催され、負担金額の減額が決定いたしました。その時点では減額補正することが間に合いませんでしたので、不用額として残っております。

次に3番目、豊前市他二町清掃施設組合負担金で、令和4年度より3市町で、し尿の共同処理を行うようになり、し尿処理にかかった経費を各市町の前年度搬入料により案分して、負担金を算出しております。次の4番目、すみません、次のページになります。し尿処理施設建設負担金で、吉富町と上毛町が清掃センターでし尿処理を行う前に、豊前市単独で改修していた施設の工事費負担金を案分して算出しております。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 47ページ、48ページ、49ページ、50ページ、51ページ、52ページ。副町長。

○副町長（和才 薫君） 52ページお願いします。

5目農地費中ほどの12節委託料の中の上から2番目、排水機場保守点検業務委託料です。これは新規の項目になりますが、こちらは、これまでは界木にあります排水機場の点検につきましては、職員により定期点検を行い稼働に問題なく執り行ってまいりましたが、点検には専門知識

が必要であるため台風や大雨のとき、支障なく稼働させるため業者委託を行ったものであり、排水機場の施工業者である株式会社クボタ環境エンジニアリングへ点検を頼んだものでございます。

その少し下です。18節の負担金補助及び交付金の1番下、多面的機能支払交付金についてです。こちらは県費補助金でも少し説明させていただきましたが、令和5年4月に吉富町農地・水・環境保全活動組織設立の総会を開催し、本格的に取組を開始しております。現在の活動地域は、幸子上地区、幸子古地区、神揚地区、別府のチシャゲ水系地区、小犬丸界木地区の合計5地区が活動をいただいております。

以上です。

○議長（山本 定生君） 52ページよろしいですか。53ページ、54ページ、建設課長。

○建設課長（軍神 宏充君） 6款2項3目10節需用費の不用額22万8,191円でございます。こちらは、主に突発的な修繕対応としての修繕料の残額でございます。

以上です。

○議長（山本 定生君） 53ページ、54ページよろしいですか。55ページ、56ページ。建設課長。

○建設課長（軍神 宏充君） 55ページです。8款1項1目18節負担金補助金及び交付金の不用額50万5,400円でございます。

主な内容は、下から2番目のブロック塀撤去費補助金につきまして、3件分の相談を受けていたところですが、昨年度執行までに至らず予算額48万円ほどが不用額となっております。

56ページをお願いいたします。8款2項2目11節の土地分筆登記手数料の不用額67万3,141円についてですが、こちらは突発的な用地買収に対応する費用としての残額です。

続いて、14節町道新設改良工事費の不用額782万5,510円につきましては、入札の執行残と工事の変更に対応するものとしての残額です。

最後に、3項1目14節用排水路改良工事費の不用額21万6,200円につきましては、こちらも突発的な修繕工事対応分としての残額でございます。

以上です。

○議長（山本 定生君） 56ページよろしいですか。57ページ、58ページ。建設課長。

○建設課長（軍神 宏充君） 57ページです。8款4項2目10節需用費の不用額77万1,566円の主な内容につきましては、自治会要望などによる街灯の新設や蛍光灯の玉切れ時に、照明器具をLED化するための取替費用の残額でございます。

以上です。

○議長（山本 定生君） 57ページ、58ページ、よろしいですか。59ページ、60ページ。福祉保険課長。

○福祉保険課長（友田 哲也君） 59ページをお願いいたします。

8款5項1目住宅管理費の14節工事請負費の44万円についてご説明いたします。こちらの工事費は、幸子団地の入居者の第三者行為に伴う現状復旧工事で、室内全域のクロスの張り替え、廊下フローリングの一部張り替えなど、基本的な現状回復は入居者の関係者で実施していただきましたが、事件性の有無や福祉的な配慮が求められる案件であり、洗面台など一部新規設置工事として緊急速やかに実施するということから、予備費を充用させていただきました。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 60ページまでよろしいですか。61ページ、62ページ、63ページ、64ページ。教務課長。

○教務課長（石丸 順子君） 63ページをお願いいたします。

10款1項教育総務費の2目事務局費です。18節負担金補助及び交付金の不用額が178万2,736円となっております。

主なものは説明の1番下、給食費助成金で、不用額は137万4,726円となっております。給食の提供数がインフルエンザによる学級閉鎖や転出入により減少したことによります。

続いて64ページをお願いいたします。

2項小学校費1目学校管理費です。10節需用費に予備費から92万1,000円を充用しております。空調設備の修繕料として充用したものです。令和5年8月24日の大雨の際に、落雷の影響で普通教室6教室と職員室の室外機と室内機が故障し、9月1日からの2学期の始業に向けて早急に対応する必要があり、予備費を充用しての修繕を行いました。充用額は当初、故障が判明しておりました、5教室と職員室分の92万7,000円についてで、最終的な修繕料は、主要施策報告書の23ページに記載しておりますが、105万4,900円となっております。なお当該需用費の不用額125万3,866円は、光熱水費の電気料の減によるものです。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 64ページよろしいですね。65ページ、66ページ。教務課長。

○教務課長（石丸 順子君） 66ページお願いいたします。

1目学校管理費17節備品購入費に予備費から77万円を充用しております。給食室の牛乳用保冷庫が3月21日に故障し、新年度の給食開始に向け、3月中の機器納品が必要であったため、予算不足額を予備費から充用し、購入、整備をしたものです。

続いて、2目教育振興費12節委託料に予備費から30万9,000円を充用しております。

小学校の児童に対し、日常的に英語に触れ、慣れ、親しみ、英語を身近に感じる機会を提供するために行っております外国語教育支援事業について、5年生の学級編制が当初予算計上時の2クラスから3クラスに変わり、年間授業時間数が71時間増えたことから事業費が増加したた

め予備費を充用し、予算を確保して、例年どおり年度当初からの事業の開始をいたしております。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 66ページまでよろしいですか。67ページ、68ページ。教務課長。

○教務課長（石丸 順子君） 67ページです。

3項中学校費1目学校管理費です。18節負担金補助及び交付金の不用額251万円につきましては、2月の中学校組合議会を経まして、最終的な本町の負担額が決定されましたが、本町の予算の補正予算が減額できなかったため、不用額となっております。また、この減額の大きな理由は、光熱水費の電気料の減によるものです。

以上です。

○議長（山本 定生君） では、68ページまでよろしいですか。69ページ、70ページ。教務課長。

○教務課長（石丸 順子君） すみません、67ページにすいません、戻ってください。

4項社会教育費1目社会教育総務費です。10節需用費に、公用車のガソリン代の不足のため、4目フォーユー会館費から5万円を流用しております。

続けてよろしいでしょうか。

○議長（山本 定生君） いいですよ。

○教務課長（石丸 順子君） 69ページ、お願いいたします。

4項社会教育費4目フォーユー会館費、こちらが先ほどの流用いたしました5万円の記載と併せまして、体育施設費に3万円を流用しておりますが、その内容については、流用先の款項目で説明いたします。

以上です。

○議長（山本 定生君） 70ページよろしいですか。71ページ、72ページ。教務課長。

○教務課長（石丸 順子君） 71ページ、5項保健体育費2目体育施設費です。10節需用費に、常用草刈機用のガソリン代の不足のため、4目フォーユー会館費から3万円を流用しております。

なお、当該需用費の不用額136万4,554円は、光熱水費の電気料の減が要因しているものでございます。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 72ページまでよろしいですか。それでは、73ページ、74ページ。建設課長。

○建設課長（軍神 宏充君） 14款1項1目14節山国川緑地公園施設災害復旧工事費の不用額53万7,500円の主な内容につきましては、詳細設計や入札の執行残と工事の変更に対応するものとしての残額でございます。

以上です。

○議長（山本 定生君） すいません。74ページはありません。

以上で、決算書の内容について執行部からの説明が終わりました。

ここで暫時休憩いたします。再開は13時といたします。

午後0時02分休憩

午後1時00分再開

○議長（山本 定生君） 休憩前に引き続き再開します。

次に、議案第43号令和5年度吉富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、ページを追って質疑を行います。

決算書1ページをお開きください。1ページ、2ページ、3ページ、4ページ。

続きまして、事項別明細書1ページをお開きください。歳入1ページ、2ページ、3ページ、4ページまで。

歳入全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

次に、歳出に移ります。歳出5ページ、6ページ、7ページ、8ページ、9ページ、10ページまで。

歳出全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 以上、歳入歳出全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、実質収支に関する調書11ページ。財産に関する調書12ページ。

以上、決算書全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

次に、議案第44号令和5年度吉富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、ページを追って質疑を行います。

決算書1ページをお開きください。1ページ、2ページ。

続きまして、事項別明細書1ページをお開きください。歳入1ページ、2ページまで。

歳入全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、歳出に移ります。歳出3ページ、4ページまで。

歳出全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 以上、歳入歳出全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、実質収支に関する調書5ページ。

以上、決算書全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

次に、議案第45号令和5年度吉富町奨学金特別会計歳入歳出決算の認定について、ページを追って質疑を行います。

決算書1ページをお開きください。1ページ、2ページ、3ページまで。

続きまして、事項別明細書1ページをお開きください。歳入1ページ、2ページまで。

歳入全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、歳出に移ります。歳出3ページ。

歳出全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 以上、歳入歳出全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、実質収支に関する調書4ページ。財産に関する調書5ページ。

以上、決算書全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

次に、議案第46号令和5年度吉富町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について、ページを追って質疑を行います。

水道事業会計決算書の1ページをお開きください。

収益的収入及び支出の収入全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 支出全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、2ページをお開きください。資本的収入及び支出の収入全般につ

いて御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 支出全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、3ページ、重要な会計方針に係る事項に関する注記。

次に、損益計算書、4ページ。剰余金計算書、5ページ。同じく5ページ、剰余金処分計算書（案）。

次に、貸借対照表6ページ、資産の部、7ページ、資本の部まで。

以上、決算書全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

次に、議案第47号令和5年度吉富町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてを議題といたします。ページを追って質疑を行います。

下水道事業会計決算書の1ページをお開きください。

収益的収入及び支出の収入全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 支出全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、2ページをお開きください。資本的収入及び支出の収入全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 支出全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、3ページ、重要な会計方針に係る事項に関する注記。

次に、損益計算書、4ページ。剰余金計算書、5ページ。同じく5ページ剰余金処分計算書（案）。

次に、貸借対照表、6ページ、資産の部、7ページ、資本の部まで。

以上、決算書全般について御質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題になっております議案第43号から議案第47号までの5議案は、それぞれの所管委員会に付託したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第43号令和5年度吉富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定については、福祉産業建設委員会へ。議案第44号令和5年度吉富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定については、福祉産業建設委員会へ。議案第45号令和5年度吉富町奨学金特別会計歳入歳出決算の認定については、総務文教委員会へ。議案第46号令和5年度吉富町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定については、福祉産業建設委員会へ。議案第47号令和5年度吉富町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定については、福祉産業建設委員会へ。

以上のとおり、それぞれの委員会へ付託いたします。

日程第13. 報告第5号 令和5年度吉富町健全化判断比率の報告について

○議長（山本 定生君） 日程第13、報告第5号令和5年度吉富町健全化判断比率の報告についてを議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） 議案書11ページをお願いいたします。

報告第5号令和5年度吉富町健全化判断比率の報告についてでございます。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により、令和5年度吉富町健全化判断比率を別紙監査委員の意見をつけて報告いたします。

健全化判断比率の4つの比率について御説明をいたします。

議案書19ページを御覧ください。

まず、表の①実質赤字比率につきましては、令和5年度は黒字決算となっており、算定されないという状況ですので、横棒で表示をしております。早期健全化基準の15.0%と比較すると、これを大幅に下回っております。

次に、②連結実質赤字比率につきましても、令和5年度が黒字決算となっており、算定されないという状況ですので、同じく横棒で表示をしております。早期健全化基準の20.0%と比較すると、これを大きく下回っております。

次に、③実質公債費比率につきましては、令和5年度が8.9%となっておりまして、前年度比0.5%の増となっております。これは3年平均の値でありまして、以前に比べ町債の元利償還金の額などが増加をしているため、3年平均ではやや数値が上がりましたが単年では前年度の値を少し下回っている状況でございます。早期健全化基準の25.0%と比較をいたしますと、これを大幅に下回っております。

最後に、④将来負担比率につきましては、基金の残高が増加したことなどにより、令和5年度

は充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、算定されないという状況ですので横棒で表示をしております。早期健全化基準の350.0%と比較をいたしますと、これを大幅に下回っております。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 次に、代表監査委員に監査の報告を求めます。是石英俊監査委員。

○代表監査委員（是石 英俊君） 令和5年度吉富町健全化判断比率の報告について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により関係書類を監査した結果、その意見は次のとおりであります。

審査対象は、令和5年度の財政健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類であります。

審査終了日は令和6年8月26日であります。

財政指標の算定の基礎となった書類等を慎重に審査した結果、適正に作成され、法令等に照らし財政規模の算出過程に誤りがなく正確であると認めました。

詳細につきましては、審査意見書のとおりであり、それぞれの基準値を大幅に下回っており、良好であると認めました。

令和6年9月3日、吉富町監査委員是石利彦、同是石英俊。

○議長（山本 定生君） 以上で、報告説明を終わります。

日程第14. 報告第6号 令和5年度吉富町水道事業会計資金不足比率の報告について

○議長（山本 定生君） 日程第14、報告第6号令和5年度吉富町水道事業会計資金不足比率の報告についてを議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長（奥家 照彦君） 議案書の21ページをお願いいたします。

報告第6号令和5年度吉富町水道事業会計資金不足比率の報告についてでございます。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第22条第1項の規定により、令和5年度吉富町水道事業会計資金不足比率につきましては、資金不足は発生せず算定されませんでしたので、監査委員の意見をつけてその旨御報告いたします。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 次に、代表監査委員に監査の報告を求めます。是石英俊監査委員。

○代表監査委員（是石 英俊君） 令和5年度吉富町水道事業会計経営健全化審査意見について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、関係書類を監査した結果、その意見は次のとおりであります。

審査対象は、財政健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記録した書類でありまして、審査終了日は、令和6年8月26日であります。

財政指標の算定の基礎となった書類などを慎重に審査した結果、適正に作成され、法令などに照らし財政規模の算定過程に誤りがなく正確であると認めました。

詳細につきましては、審査意見書のとおりであり、それぞれの基準値の20%を大幅に下回っており、良好であると認めました。

令和6年9月3日、吉富町監査委員是石利彦、同是石英俊。

○議長（山本 定生君） 以上で、報告説明を終わります。

日程第15．報告第7号 令和5年度吉富町下水道事業会計資金不足比率の報告について

○議長（山本 定生君） 日程第15、報告第7号令和5年度吉富町下水道事業会計資金不足比率の報告についてを議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。上下水道課長。

○上下水道課長（奥家 照彦君） 議案書の23ページをお願いいたします。

報告第7号令和5年度吉富町下水道事業会計資金不足比率の報告についてでございます。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第22条第1項の規定により、令和5年度吉富町下水道事業会計資金不足比率につきましては、資金不足は発生せず算定されませんでしたので、監査委員の意見をつけてその旨御報告いたします。

以上でございます。

○議長（山本 定生君） 次に、代表監査委員に監査の報告を求めます。是石英俊監査委員。

○代表監査委員（是石 英俊君） 令和5年度吉富町下水道事業会計経営健全化審査意見について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、関係書類を監査した結果、その意見は次のとおりです。

審査対象は、財政健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記録した書類でありまして、審査終了日は令和6年8月26日であります。

財政指標の算定の基礎となった書類などを慎重に審査した結果、適正に作成され、法令などに照らし財政規模の算定過程に誤りがなく正確であると認めました。

詳細につきましては、審査意見書のとおりであり、それぞれの基準値の20%を大幅に下回っており良好であると認めました。

令和6年9月3日、吉富町監査委員是石利彦、同是石英俊。

○議長（山本 定生君） 以上で報告説明を終わります。是石監査委員は退席されて結構でございます。お疲れさまでございました。

ここで、暫時休憩いたします。

午後 1 時16分休憩

午後 1 時17分再開

○議長（山本 定生君） 再開いたします。

日程第 1 5、報告第 7 号令和 5 年度吉富町下水道事業会計資金不足比率の報告についてを議題——じゃなかった、ごめんなさい。間違えました、すみません。次のページですね、失礼いたしました。

日程第 1 6. 議案第 4 8 号 令和 6 年度吉富町一般会計補正予算（第 4 号）について

○議長（山本 定生君） 日程第 1 6、議案第 4 8 号令和 6 年度吉富町一般会計補正予算（第 4 号）についてを議題といたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第 4 8 号については、本日の質疑を省略し、予算決算委員会に付託したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第 4 8 号令和 6 年度吉富町一般会計補正予算（第 4 号）については、本日の質疑を省略し、予算決算委員会に付託することに決しました。

日程第 1 7. 議案第 4 9 号 令和 6 年度吉富町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）について

○議長（山本 定生君） 日程第 1 7、議案第 4 9 号令和 6 年度吉富町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）についてを議題といたします。

これから、ページを追って質疑に入ります。補正予算書、準備よろしいでしょうか。いいですか。

補正予算書 1 ページ。歳入 2 ページ。歳出 3 ページ。

次に、4 ページ。事項別明細書、総括、歳入 5 ページ。同じく総括、歳出。

次に、6 ページ。歳入全般について御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 次に、歳出に入ります。7 ページ。歳出全般について御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 歳入歳出全般について御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 以上、補正予算書全般について御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第49号は、福祉産業建設委員会に付託したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第49号令和6年度吉富町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）については、福祉産業建設委員会に付託いたします。

日程第18. 議案第50号 令和6年度吉富町水道事業会計補正予算（第2号）について

○議長（山本 定生君） 日程第18、議案第50号令和6年度吉富町水道事業会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

これから、ページを追って質疑に入ります。

補正予算書1ページ。補正予算実施計画書、収益的収入及び支出2ページ。資本的収入及び支出、収入3ページ、支出4ページ。予定貸借対照表5ページ、6ページ、7ページまで。補正予算実施計画明細書、収益的収入及び支出8ページ。資本的収入及び支出、収入9ページ、支出10ページ。

以上、補正予算書全般について御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第50号は、福祉産業建設委員会に付託したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第50号令和6年度吉富町水道事業会計補正予算（第2号）については、福祉産業建設委員会に付託いたします。

日程第19. 議案第51号 教育委員会委員の任命について

○議長（山本 定生君） 日程第19、議案第51号教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。総務財政課長。

○総務財政課長（奥本 仁志君） それでは、議案書 28 ページをお願いいたします。

議案第 51 号教育委員会委員の任命について、吉富町教育委員会委員に次の者を任命したいので同意を求めます。

住所、吉富町大字今吉 366 番地 6。氏名、西村愛。平成 2 年 1 月 28 日生まれ。

令和 6 年 9 月 30 日をもって任期が満了する益田真理子氏の後任として、西村愛氏を任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 4 条第 2 項の規定により、議会の同意を求めます。

西村氏は、長崎県長崎市の御出身で現在 33 歳。県立広島大学を御卒業後、言語聴覚士として長崎市の一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院に入職をされ、障害のあるお子さんや成人・高齢者が住み慣れたところで、安心してその人らしく生き生きと生活できるようにと、リハビリテーション業務に従事をされました。御結婚後に本町にお住まいになり、豊前総合法律事務所に入職され勤務をする傍ら、平成 31 年 5 月から令和 6 年 3 月まで、行橋市の一般社団法人子どもサポートセンターで、言語聴覚士として子供たちの成長に関する言葉の療育について、サポートを行ってこられました。

こうしたお仕事と併せて、小学生と未就学児の 2 人のお子さんの子育てをされる中で、人がその人らしく生きるためにはどうすればよいのかを常に考えられ、そのためには教育が土台になるとの思いをお持ちであり、教育に強い関心を持っておられます。

お人柄はもちろんのこと、法律事務所の職員、言語聴覚士として御活躍をされた、これまでの経験及び力量等も申し分なく、法の規定により含めることとされております、保護者の委員として本町教育委員会の委員に適任であると考えております。

なお、任期は本年 10 月 1 日から令和 10 年 9 月 30 日までの 4 年間となります。

以上で説明を終わります。御同意くださいますようお願いいたします。

○議長（山本 定生君） 担当課長の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。本案に対して質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第 51 号は、会議規則第 39 条第 3 項の規定により委員会付託を省略したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第 51 号は委員会付託を省略することに決しました。

次に、討論に入ります。反対討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 賛成討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 討論なしと認めます。これにて質疑、討論を終わります。

これから本案を採決いたします。本案は原案のとおり同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第51号教育委員会委員の任命については、原案のとおり同意することに決しました。

**日程第20. 議案第52号 福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議
について**

○議長（山本 定生君） 日程第20、議案第52号福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議についてを議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。福祉保健課長。

○福祉保険課長（友田 哲也君） それでは、議案書の29ページをお開きください。

議案第52号福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議についてでございます。

それでは、提案理由について御説明を申し上げます。議案書の30ページと附属資料の11ページの新旧対照表も併せて御覧ください。

この改正は、国において行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆるマイナンバー法の改正が行われ、マイナンバーカードと保険証の一体化により、被保険者証と資格証明書が廃止されますことに伴い、令和6年12月2日以降は、マイナンバーカードをお持ちでない方へ資格確認書等が交付されることとなります。

この改正に伴い、福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する必要性が生じたため、地方自治法第291条の11の規定により、議会の議決を求めます。

それでは、新旧対照表を見ていただきながら御説明いたしますので、附属資料の11ページをお願いいたします。下線部分が今回の改正部分であります。

別表第1、第4条関係の区分1の関係市町村において行う事務、(2)と(3)の項中、被保険者証及び資格証明書を資格確認書等に改正するものであります。法改正により、被保険者証と資格証明書等を廃止し、資格確認書等を交付するための改正となります。

次に、議案書30ページをお願いします。附則といたしまして、この規約は令和6年12月2日から施行するものでございます。

以上で、説明を終わります。慎重に御審議の上、御議決くださいますようお願いいたします。

○議長（山本 定生君） 担当課長の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。本案に対して質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第52号は、会議規則第39条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 御異議なしと認めます。よって、議案第52号は委員会付託を省略することに決しました。

次に、討論に入ります。反対討論はありませんか。岸本議員。

○議員（8番 岸本加代子君） 今回の規約の改正は、現行の被保険者証の廃止を前提としたものであり、被保険者証の継続を求める声が多い中、私も継続すべきだと考えるので、反対いたします。

○議長（山本 定生君） 賛成討論はありませんか。矢岡議員。

○議員（9番 矢岡 匡君） 国に準ずる旨、大方の共通感覚を得ていると述べて、賛成討論いたします。

○議長（山本 定生君） 反対討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 賛成討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 定生君） 討論なしと認めます。これにて質疑、討論を終わります。

これから本案を採決いたします。御異議がありますので、起立により採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山本 定生君） 結構です。起立多数であります。よって、議案第82号福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議については、原案のとおり可決することに決しました。

日程第21. 報告第8号 経営状況の報告について（株式会社ツクローネ吉富）

○議長（山本 定生君） 日程第21、報告第8号経営状況の報告について（株式会社ツクローネ吉富）を議題といたします。

担当課長に内容の説明を求めます。副町長。

○副町長（和才 薫君） 議案書の31ページをお願いいたします。

報告第8号経営状況の報告についてです。令和5年度株式会社ツクローネ吉富の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により別紙のとおり報告する。別冊の株式会社ツクローネ吉富令和5年度事業報告書をお願いいたします。

事業報告書の1ページをお開きください。

1、事業の概要です。自主財源確保のため広告看板事業を軸とし、安定的な家賃収入を得ることができました。地域貢献事業では、新規の観光事業として神楽体験ツアーを実施いたしました。また、交流マルシェや特産品開発支援などの事業継承をするため、民間会社と共同企業体となり、自走に向けて取組を行っております。

2の事業の実施状況についてです。収益事業として、(1)のプロモーション事業と(2)の代理店事業に取り組みました。(1)のプロモーション事業では、小犬丸交差点の野外広告看板を5社と契約し、36万6,000円の売上げを計上しております。また、デジタル看板事業は8社との契約で131万7,000円の売上げとなっております。(2)の代理店事業では、新電力代理店事業で、役場関連3件、民間家屋等21件の契約により11万3,000円を売上げております。(3)の空き家店舗利活用事業では、もつ鍋よし藤より、4月から2月にて55万円の家賃収入を得ています。

なお、本年の6月から契約をし、新たにこの8月8日より居酒屋103さんがオープンをしているところです。

次に、社会貢献事業として(4)の交流マルシェ開催支援として、これまでのマルシェ事業を継続発展させ、町のPR・創業者の掘り起こし等を行いました。(5)の特産品開発支援として、地場産品の掘り起こしや商品のブラッシュアップに取り組みました。(6)の新たな観光地域づくり事業として神楽体験ツアーの実施等を行い、新たな観光ツーリズムの構築を図りました。

続いて、3ページの損益計算書をお願いいたします。

1の売上高は249万7,676円です。主な売上げは、先ほど御説明をいたしました、広告看板事業や代理店事業、空き家店舗の家賃収入になります。

2の売上原価につきまして、令和5年度の仕入れはございませんでした。

3の販売費及び一般管理費346万5,596円の主な内容といたしましては、会議費、通信費、デジタル看板の電気代、保険料、手数料などです。

4の営業外収益は300万15円で、町の助成金と預金利子となっております。

この結果、一番下の令和5年度の当期純利益は179万4,739円となり、新たな体制による人件費などの見直しを行ったことによるものです。

続いて、4ページの貸借対照表をお願いします。

1の流動資産(1)、現金及び預金310万7,434円です。こちらにつきましては、前年度の期末残高20万8,571円に、補助金や売上げなどの549万7,691円を加えたものから、事業費として271万176円を差し引いた額となっています。その主な経費といたしましては、先ほどの損益計算書に計上されている販売費や一般管理費となっています。

5ページをお願いいたします。

3、固定資産台帳です。空き家をリノベーションした建物、土地、LEDビジョン等5種類の資産を保有をしております。

続いて、1ページめくっていただき、令和6年度の事業計画を御説明いたします。

令和6年度の事業計画の1ページ目、中段2の事業実施計画についてです。

令和5年度に引き続き、自主財源の確保に向けた収益事業として、1のプロモーション事業から、(3)の空き家店舗利活用事業に取り組みます。

また、地域貢献事業として、町からの事業継承を目標に、(4)の交流マルシェ開催支援と(5)の特産品企画支援、(6)の新たな観光地域づくり事業について、令和5年度を継承しながらブラッシュアップを行い、かつ定着化を計画してまいります。

このように、設立時の目標にありますように、あらゆる地域活性化事業に取り組むことで、町の魅力向上及び発展に資する事業展開を行っていく計画となっております。

3ページ、4ページをお願いいたします。

収支計画としましては、収入の部として町の補助金300万円に加え、その他に記載していますが、主軸となるLED看板事業の拡大などを図り、230万円の売上高を見込んでいます。支出の部では、今年の6月から新たに1名の取締役が選任をされ、人件費は引き続き2名の役員が無報酬、1名は年間60万円で事務及び経理を行う体制として見直しをされております。

以上のことから、収支バランスがとれ、本事業を十分に実施していける収支計画であると考えております。

以上で、株式会社ツクローネ吉富の経営状況の報告を終わります。

○議長(山本 定生君) 以上で報告説明を終わります。

----- . ----- . -----

○議長(山本 定生君) 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

本日は、これにて散会いたします。長時間お疲れさまでした。

午後1時38分散会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年 9月 6日

議 長

署名議員

署名議員